

# 石川教区寺院・本願寺金沢別院 被災状況

江南組十五か寺中十三か寺  
本堂屋根瓦の崩落、本尊光背破損、仏具の  
転倒・落下、厨子傾斜、本堂傾斜、本堂欄  
間障子の落下、外壁の剥離・落下、亀裂多  
数、庫裏傾斜、庫裏屋根の棟石落下にて瓦  
割れ、内外壁崩落、客僧部屋の土壁にひび  
割れ、展示品落下破損、灯籠の倒壊、寺標

**鳳珠組 九か寺中 九か寺**  
本堂一部崩落、仏具転倒・落下、外壁の剥離・  
崩落、本堂天井の落下、本堂欄間の損壊、本  
堂横広間の天井落下、鐘樓堂の全壊・半壊、  
庫裏の全壊・半壊、石灯籠の転倒、床上浸水、  
鐘樓堂全壊

石板の台座にずれ、書院の置物転倒、  
転倒、墓石損壊

**鹿島組** 十八か寺中十八か寺  
本堂一部崩落、本尊損傷、仏具転倒・落下、  
外壁の剥離・崩落、庫裏土塀の剥落・亀裂、  
門徒会館損壊、山門傾斜、経蔵損壊、鐘楼堂

本堂屋根瓦多数落下、本堂鬼瓦・棟瓦損傷、  
外壁の剥離・落下、亀裂多数、山門の損傷、  
鐘楼堂の倒壊、入口の雪囲い倒落、土壁一部  
損傷、庫裏傾斜、庫裏屋根の棟石落下に  
て瓦割れ、内外壁崩落、境内地白壁・土壁  
の崩落、座敷・式台土壁部分剥落、引戸倒  
壊、引戸ガラス部の損傷、石屏崩壊、灯籠  
倒壊、墓石転倒・損壊多数、茶室内部土壁  
の部分剥落

羽水組 二十一か寺中十九か寺

本堂全体の損傷、外壁の崩落・倒壊、本堂  
庫裏の傾斜、本堂屋根瓦・棟瓦一部崩落・  
境内地割れ、本堂基礎向拝ひび割れ、仏  
具・天蓋一部落ち・障子圧迫破損・本尊須  
弥壇ずれ、本尊・寺院御影破損、本堂柱ひ  
び、墓石・灯篭倒壊、墓地液状化、津波車  
庫浸水本堂白壁剥離崩落、庫裏の瓦の崩  
落、庫裏の屋根陥没による雨漏り、津波に

の全壊・半壊、庫裏の全壊・半壊、石灯籠の転倒、式台破損、参道石垣の陥没・損壊、墓石の損壊

**島崎山組** 十五か寺中十五か寺

本堂一部崩落、本堂半壊、本堂棟瓦の損傷、  
本堂瓦の落下、本堂天井崩落、須弥壇の破損、  
本尊損傷、仏具転倒・落下、外壁の剥離・崩  
落、本堂傾斜、仏具転倒・落下、本堂向拝梁  
落下、向拝扉損傷、庫裏の屋根損傷、広間壁  
剥落、庫裏土屏崩落、液状化による境内地全  
体の損傷、鐘樓堂の全壊・半壊、石灯籠の転  
倒、墓石倒壊

**本願寺金沢別院**

本堂仏具転倒・落下、石灯籠倒壊、経蔵宝  
珠落下・瓦落下、対面所白壁剥離複数箇所、  
ふすま転倒破損、山門横屏の傾斜・ひび割  
れ、大谷廟所仏具落下、天井・床ずれ、白  
壁一部崩落、大谷廟所庫裏（事務所棟）白  
壁ずれ・崩落、板壁ずれ落下、瓦崩落、大

石川教区報  
西別院だより

2024  
令和6年  
合併号  
/vol. 1

発行所  
本願寺  
金沢別院  
金沢市  
笠市町  
2-17

發行人  
石川教區  
教務所長  
本願寺  
金沢別院  
輪番  
中村祐順



## 令和6年能登半島地震について

このたびの令和6年能登半島地震により被災された皆様に  
衷心よりお見舞い申しあげます。

2024(令和6)年元旦。16時10分。石川県輪島市の東北東30km付近を震源とするM7.6の大地震が、石川県全域をはじめ、北陸・中部地方を襲いました。

能登地方の寺院においては、津波による床上浸水、本堂半壊、庫裡全壊、鐘樓堂崩壊など、甚大な被害を受けました。寺院だけではありません。門信徒にも多数の被害が及んでおり、避難所での生活を余儀なくされている方もおられます。壊滅状態の奥能登地方をはじめ、能登半島全域が深刻な状況に陥っています。

発災当初、震度5強を観測した金沢市においては、消防車や警察車両のサイレン、建物のセキュリティ音が街中に鳴り響き、金沢別院においても、経蔵の宝珠が崩れ落ち、平瓦が何枚も割れ、内陣仏具は落下破損、石灯籠が何本も倒壊するなど多数の被害が出ました。

現在、道路の崩壊や半島特有の地形の影響を受け、現地の復旧の兆しはありません。日本海側の厳しい寒さと警報級の積雪のなか、命をつなぎとめることしかできない状況が続いています。

発災時より、全国からたくさんの温かいご支援をいただいたことで、命をつなぐための物資は間に合いつつあります。しかしながら、これから能登地方における浄土真宗の存続を鑑みますと、寺院の復興は必至であります。再建にむけては、何より義援金、支援金、見舞金等、金銭面のご支援が不可欠です

古くから、当地には「能登は やさしや 土までも」という言葉があります。能登の方々は皆さん「うちは大したことない」と仰られますが、被災地はすべて甚大な被災状況下にあります。

これから、被災地の方々は、長い時間と労力をかけて、震災の復興をしていかなければなりません。

このたびのご支援、お見舞いのお志に厚く御礼申しあげますとともに、有縁の方々に、この甚大な被災状況をお伝えいただき、支援の輪を拡げていただきますように、切に念じ申しあげます。

報道が少なくなるに比例して、震災は風化していきます。被災地の状況にかかわらずです。今後とも引き続きのご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申しあげます。

2024 (令和6) 年1月24日

石川教区現地緊急災害対策本部長  
石川教区教務所長  
本願寺金沢別院輪番  
中 村 祐 順